



QRコードから、
ぜひ印刷労連のHPも
ご覧ください。

連合印刷労連労働相談ダイヤル

03-5442-0191

竹詰ひとしさんより「皆さまへのメッセージ」

わたくし「竹詰ひとし」は、現在、次期参议院議員選挙への候補予定者として活動をいたしておりますが、このたび、小林・浜野両参议院議員に続き、印刷労連のみなさまからご推薦を賜り、感謝と身の引き締まる思いです。

印刷業界は、デジタルメディアへの移行が加速し、紙媒体の印刷需要が減少するなど、市場規模の縮小が続いていると承知しています。そして、2年に及ぶ新型コロナウイルス感染症は、厳しい経営環境に更なる影響を与えているのではないのでしょうか。そのような状況にあつて、印刷情報メディア産業に従事する皆さまの声をお聞きし、現場で働くみなさまの声を国政に届けることができるよう、「頼れる政治。職場の声が原点！」この思いで今年の夏の戦いまで全力で走り抜いてまいりますので、引き続きのご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

竹詰ひとし

印刷労連は「竹詰ひとし」さんを支援しています！

印刷労連は、2021年7月30日に開催された「第1回中央委員会」で、第26回参议院議員通常選挙に向けて、電力総連副会長の「竹詰ひとし」さんを推薦することを決定しました。

もっと知ろう!

「竹詰ひとし」さんプロフィール



■プロフィール

生年月日：1969（昭和44）年2月6日生まれ
 学 校 歴：昭和59年3月 東京都練馬区立練馬東中学校卒
 昭和62年3月 國學院大學久我山高等学校卒
 平成 3年3月 慶應義塾大学経済学部卒
 出 身 地：東京都（出生地：山形県）
 家 族：妻、子供4人（長女、二女、三女、長男）



<会社歴>

平成03年4月～ 東京電力㈱入社 東京西支店板橋支社 料金課、営業課
 平成09年7月～ 同 本店企画部 調査グループ

<組合歴>

平成13年6月～ 本店総支部書記長（以降組合専従）
 平成15年9月～ 電力総連 社会産業政策局部長
 平成17年4月～ 外務省出向 在タイ日本国大使館一等書記官
 平成20年6月～ 連合本部 生活福祉局次長、国際局長、経済政策局長
 平成28年8月～ 東電労組中央書記長
 令和元年 5月～ 中央執行委員長
 令和元年 9月～現在 電力総連副会長



「小林参議院議員」国政報告&みなさまへメッセージ



印刷労連の皆さまには、日ごろのご支援・連携に感謝を申し上げます。

【中小企業対策・労働政策】

印刷労連の皆さまから政策要望として伺ってありました「中小企業対策」「労働政策」について、昨年2021年12月参議院本会議の代表質問で岸田文雄総理大臣に質問・要望をしました。

【現場の声が国を動かした!】

2018年・第196回通常国会「働き方改革関連法案」の審議に際し、印刷労連の皆さまと職場環境について意見交換をさせていただきました。特に印刷労連の皆さまには、以前から職場環境改善に向けた意見交換等を行うなど密に連携をさせていただいており、おかげさまで「実感のこもった現場の声」を政府に投げ、より具体的な課題提起、質疑を交わすことができました。同年6月に法案は成立。当時、厚労委員会の野党筆頭理事だった私は、附帯決議の中に、「事業所その他の作業場における労働者の休養、清潔保持等のため事業者が講ずべき必要な措置について、働き方改革の実現には、職場環境の改善を図ることも重要であるとの観点を踏まえ、労働者のニーズを把握しつつ、関係省令等の必要な見直しを検討するこ

と」を盛り込み、労働政策審議会においてしっかりと審議をしていただくよう強く要望をしました。

以降、厚労省と連携し、都度、労働政策審議会の進捗状況を聴取、印刷労連の皆さまにいただいた声を元に時に意見するなど今日に至っております。

この間、1972年の制定から一度も見直しがされてこなかった「労働安全衛生規則（安衛則）及び事務所衛生基準規則（事務所則）」が一部改正されるなど（2021年12月）、印刷労連の皆さまからいただいた声が国を動かした、まさに私の信念である「現場の声が国を動かす!」そのものとなり、日頃からの皆さまとの連携に改めて感謝いたします。

【小林正夫から「竹詰ひとし」にバトンタッチ!】

職場の課題は国会で議論されるものが多くあります。印刷労連の皆さまの政策課題を実現するため、今年7月の参議院選挙では、私の後継である「竹詰ひとし」にバトンタッチできるよう全力で頑張っており、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。



印刷労連が提出した「産業政策要望書(一部抜粋)」

印刷労連は、中小企業の持続可能性と発展がなければ、産業の未来は開けないという観点から、企業存続による雇用確保と、緊急時にも備えた働く環境整備を軸に、この度の産業政策の要望書を取りまとめた。

I. 中小企業対策

1. 積極的雇用対策や社会的セーフティネットの整備に取り組むこと

正規労働者はもとより、非正規労働者を含め、重層的な積極的雇用対策や社会的セーフティネットの整備に取り組むことを要望する。

2. 価格転嫁をはじめ適正取引が行われるよう監視の強化

賃金や材料費といったコストの増加を、受注会社や下請け企業が適正に転嫁できるよう、ガイドラインの適時見直しと周知・徹底をはじめ、公正取引委員会との連携を含めた監視の強化を要望する。

II. 労働政策

1. デジタル化に対応できる人財育成支援の制度拡充

労働市場の変化に対し、新たな活躍の場を生み出すためにも、リカレント教育は国の重要な政策課題であります。そのためにも、教育訓練給付制度（一般教育訓練、専門実践教育訓練）については、国の責任により一般財源で実施するよう見直すなど、デジタル化に対応できる人財育成支援メニューの制度拡充と併せた検討を要望する。

2. 意欲ある高齢者が年齢に関わりなく働くことのできる環境整備

高齢者のための安全面をはじめとした職場環境整備に対する助成金の拡充や、安全と健康確保のための配慮事項の整理、勤務条件や健康管理などの好事例を展開するとともに、導入を促進するための支援の強化を図り、意欲ある高齢者が年齢に関わりなく働き続けられることと、女性参画による雇用創出にもつながることを要望する。

3. 長時間労働による健康障害の発生防止に向けた法制化の検討

長時間労働を是正し、ワーク・ライフ・バランスを実現するためにも、労働安全衛生法などの観点から、長時間労働による健康障害の発生防止、および生活時間帯の「つながらない権利」の確保に向けた法制化の検討を要望する。

4. 労働組合への事前情報の提供や協議を義務づける法制化の検討

事業譲渡や合併、あるいはM&Aなど、あらゆる事業再編において、労働組合などへの事前の情報提供・

協議を義務づけるなど、労働者保護をはかるための法制化を検討するよう要望する。

III. 働く環境整備

1. 既存オフィスを感染症対策とテレワークに適したオフィスに再構築するためのガイドラインの整備とその実現のための支援

感染症対策の進展やテレワークの普及に応じたオフィスの再構築を念頭においた指針を示していただくとともに、取り組む企業に対し助成などの支援を要望する。

2. 在宅勤務における「部屋、机、椅子、照明など物理的環境の整備」への支援

労働者の健康維持にもとづく生産性向上の観点から、作業環境の整備に対する助成や購入した場合の税制優遇措置など、各種規則や税制の見直しに向けた検討を要望する。

3. 郊外都市へのサテライトオフィスの整備を国・地方自治体へ要望します

政府と地方自治体が共同しつつ、地域にサテライトオフィス設置が積極的に進められるよう助言を要望する。

<要望書を浜野議員・小林議員へ提出>



左から浜野参議院議員・中央執行委員長・小林参議院議員

なぜ「竹詰ひとし」さんを支援するの？

1. 印刷産業を発展させるためには「産業政策」を実現させる

印刷労連は、他の産別に比べて決して大きな組織ではありません。そのため、組織内議員を擁立して政治に関与することが難しいのです。つまり、印刷産業発展に向けた取り組みである「産業政策」を実現することも容易なことではありません。従って、魅力ある印刷産業の実現に向けては、議員との連携と協力が不可欠であり、印刷労連との信頼関係をより強くするためにも継続した支援が必要なのです。

2. 出身の労働組合はすべての産業を支える電力総連

私たちは企業人としても労働者としても、印刷産業としての事業および日常生活に至るまで、安定した電力供給があってこそ、その生業と生活が維持されます。すべてのライフラインの中において電力供給はその根幹であり、日本の産業全体への影響力を及ぼすのです。よって、電力総連が進める各種政策に対しても相互連携のもと、それぞれの産業の発展に帰すべき取り組みを進めてきています。

3. 民間出身の議員だからこそ共感を得る政策につながる

電力総連組織内議員は、各地の電力単組や産別の役員を歴任したのちに、参議院議員に立候補し、現在に至っております。経歴からもわかる通り、民間出身の議員であることはもちろんのこと、労働組合の役職を経験し、組合員の労働環境をはじめ、労働諸条件の維持改善に向け取り組んできた実績を積んで国会に進出しています。従って、私たち労働者の思いに共感し、政策・制度についても労働者視点から考えることができる議員であればこそ、支援する意味を強くもつことができるのです。

第26回参議院議員選挙における候補者推薦 2021年7月30日開催 第1回中央委員会確認

第24回参議院議員選挙（比例区）選出の参議院議員（現、小林正夫氏）は2022年7月に任期満了となるが、任期満了に伴い第26回参議院議員選挙が実施される。

ついては、印刷労連として、2021年3月5日開催の第5回中央執行委員会で確認した「印刷労連政治活動・選挙運動指針」にもとづき、以下の候補者を組織推薦する。

2004年（平成16年）第20回参議院議員選挙で初当選した小林正夫氏が、3期18年の任期満了を以って退任予定であり、2021年3月25日に開催された電力総連第8回三役会議にて、その後継として、電力総連副会長の「竹詰ひとし」氏の擁立を決定した。

竹詰候補予定者は、現職で東京電力労働組合中央執行委員長、関東電力総連会長、電力総連副会長を務めており、これまでにタイ日本国大使館、連合本部などの勤務を経験し、生活者や働く人の立場で幅広い活動に取り組んでいる。

3期18年に亘り支援してきた小林正夫氏の後継に相応しい候補予定者であり、各地方協議会ならびに構成組織のご理解のもと推薦決定した。

<がっちりタッグを組む央戸中央執行委員長と竹詰ひとし氏>



左から央戸中央執行委員長・竹詰ひとし氏



「竹詰ひとし」さんはさまざまなSNSで情報を発信しています。ぜひご覧ください！

公式ホームページ



Facebook



Instagram



LINE



Twitter



You tube

